



消防団の組織概要

令和5年4月1日現在

都道府県名	神奈川県	所在地	〒250-0192		
市町村名	横浜市		神奈川県横浜市中区山吹町2-2		
消防団事務所管	中消防署 総務・予防課 消防団係	電話番号(直通)	045-251-0119	FAX	045-251-0119
消防団名	横浜市山手消防団	メールアドレス	sy-naka-sy@city.yokohama.jp		

組織	分団数	6	分団	ホームページURL	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyuukyuu-bohan/shobo/bosai/shobodan/shokai/05-06.html	
	うち機能別分団数	0	分団	SNSアカウント	なし	
	方面隊数	0	隊			
	部数	0	部	消防団活動事例・PR等		
	班数	10	班			
団員数	条例定数	210	人	<p>山手消防団は、明治27年5月横浜市に3組(伊勢佐木・石川・山手)217人の消防組が編成されたことにはじまり、昭和23年3月7日に消防組織法の施行により消防団としてスタートしました。</p> <p>また、山手消防団は住宅地を中心とした暮らしの安全を守る組織として重要な役割を果たしています。</p> <p>山手消防団は、山手、本牧、本郷町及び臨海埋立地区等を管内に持ち、北側は伊勢佐木及び加賀町消防団、北西部は南区及び磯子区、その他を東京湾と接しています。総面積は約15.2平方キロメートルと中区3消防団中最大で、中区総面積の74%となっています。</p> <p>鉄道は、JR根岸線が南北に走り、管内に山手駅があるほか、貨物線の神奈川臨海鉄道本牧線が埋立地区沿岸部を縦断しています。</p> <p>この地域には、本牧地区等の住宅地区、国際貿易港として貨物船等が出入港する本牧埠頭や大規模石油コンビナートのある臨海部、外国人墓地や港の見える丘公園などの観光地、有名私立学校がある文教地区のほか、外国領事館や近代建築物の存在する山手地区があります。また、根岸湾を望む西側には、重要文化財のある三溪園や根岸森林公園など大勢の市民が訪れる憩いの場所となっています。</p> <p>山手消防団は、この街を守るため、大型イベントの警備、地域への防災指導、大規模災害を想定した訓練など、多岐にわたり活動しています。また、本当に多くの女性消防団員が活躍しています。</p>		
	実員数	201	人			
	男性団員数	131	人			
	女性団員数	70	人			
	基本団員数	201	人			
	大規模災害団員数	0	人			
	その他の機能別団員数	0	人			
職業構成別団員数	国家公務員	2	人			
	地方公務員	3	人			
	都道府県職員	3	人			
	市区町村等職員	0	人			
	特殊法人等公務員に準ずる職員	1	人			
	農協職員	0	人			
	日本郵政グループ	0	人			
	その他	195	人			
ポンプ	普通消防ポンプ自動車	0	台			
	水槽付消防ポンプ自動車	0	台			
	小型動力ポンプ	小型動力ポンプ付積載車	9			台
		小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	5			台
		手引き動力ポンプ	0			台
年額報酬	報酬額(階級:団員)	年額	36,500	円		
	(参考)交付税単価(階級:団員)	年額	36,500	円		
出動報酬	火災	7,000	円			
	風水害等の災害	7,000	円			

※1:「消防団の組織概要等の調査」による

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和5年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。

定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。